

平成24年度 事業報告書

自 平成24年 4月 1日
至 平成25年 3月 31日

住 所 東京都文京区春日1丁目16番30号

法人名 公益財団法人 講 道 館

平成24年度事業報告書

【公益事業】

1. 青少年を対象とする学校講道館の運営

各種学校に認定されている学校講道館で、生徒の技能、習熟度合いに応じて柔道を技術面と態度面から指導した。技術に関する内容は、基本動作、対人技能、試合と段階的に進めた。態度に関する内容は、特に礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、健康・安全に関する態度及び柔道の持つ伝統的な行動の仕方などを重視し指導に当たった。

平成24年度の学校講道館の生徒数について、平成22年度、23年度を挙げて24年度と比較した。

(生徒数の変遷)

(名)

| | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 |
|-------|--------|--------|--------|
| 柔道普通科 | 75 | 69 | 64 |
| 柔道特修科 | 275 | 274 | 181 |
| 柔道補修科 | 34 | 34 | 39 |
| 柔道研修科 | 19 | 20 | 20 |
| 柔道国際科 | 33 | 30 | 20 |
| 合計 | 436 | 427 | 324 |

2. 講道館道場における柔道の指導教授

(1) 道場における指導

延べ150名を超す指導員・講師を配置し、各科においては、それぞれの対象の実態をふまえた上で、生徒の心身の発育、発達段階や、能力・適性、興味・関心等の実状を考慮し、柔道技術面だけにとどまることなく、礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、柔道の持つ伝統的な行動の仕方等を重視して修行者の指導に当たった。態度に関する内容は、柔道が我が国の伝統的な運動文化であるため、特に礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、健康・安全に関する態度及び柔道の持つ伝統的な行動の仕方などを重視して指導した。

(指導員・講師)

道場における修業者の指導を適切に行うため、道場指導部においては、錬成部指導員(17名)、成年部指導員(27名)、女子部指導員(20名)及び大阪道場指導員(26名)を選任し、学校講道館では少年部講師(18名)、男子部講師(38名)、女子部講師(11名)及び国際科講師(9名)を選任し、各部毎に指導計画、実施方法を定めて技術面、精神面にわたり指導した。特に指導に関しては柔道技術面にとどまることなく、講道館柔道が目的とするところの師範の遺訓の精神に基いた人間形成、社会貢献を目的とした高邁な理想を目指し礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、柔道の持つ伝統的な行動の仕方を留意する態度などを重視して指導にあたった。

(稽古時間及び指導時間)

| (本館) | | (大阪) | |
|------------|------------------------------------|--------------|-------------|
| ア. 一般稽古 | | 午後6:00-8:00 | |
| 平日 | 男子 午後 4:00-8:00 女子 午後 5:30-7:30 | | |
| 土曜 | 男子 午後 4:00-7:30 女子 平日に同じ | | |
| イ. 少年指導 | | 午後 4:30-6:00 | 午後5:00-6:00 |
| ウ. 「形」指導 | | | |
| 毎月第2・第3土曜日 | 午後 3:30-5:30 | | |

(2) 研修会

道場指導員、学校講道館講師に対し、年1回の全体研修会及び各部ごとの研修を実施した。また、道場指導員、学校講道館講師及び柔道高段者の資質の向上と自己研鑽に資する目的で、月1・2回の形研修を実施した。

(3) 暑中稽古及び寒稽古

暑中稽古は、講道館本館において、7月14～23日の10日間（申込者数277名 皆出席者数118名）、大阪国際柔道センターにおいて、8月7～11日の5日間実施した。

寒稽古は、講道館本館において、平成25年1月7～16日の10日間（申込者数326名 皆出席者数176名）、大阪国際柔道センターにおいては、1月14～19日（16日は休み）の5日間実施した。

(4) 紅白試合及び月次試合

修行者の上達度合いを確認し修行の励みとするため、紅白試合及び月次試合を行った。

○月次試合 — 年間15回実施し、合計1,240名の参加者であった。

○紅白試合

春季紅白試合（平成24年5月20日）：男子521名 女子72名 計593名

抜群者 男子5名（初段→貳段3名 貳段→參段2名）女子0名

秋季紅白試合（平成24年10月14日）：男子494名 女子103名 計597名

抜群者 男子3名（貳段→參段2名 參段→四段1名）女子0名

大阪前期紅白試合（平成24年4月21、22日）：男子136名 女子58名 計194名

抜群者 男子1名（初段→貳段1名）女子0名

大阪後期紅白試合（平成24年11月24、25日）：男子119名 女子33名 計152名

抜群者 男子3名（初段→貳段2名 貳段→參段1名）女子0名

3. 学校等の柔道指導者による青少年の健全な育成に関する協議会の開催

平成24年8月20日、21日、神奈川県川崎市において、全国中学校柔道大会に先立ち、中体連柔道競技部の全国（47都道府県）委員長を対象として、「講道館中学校柔道指導者講習会」を開催し、柔道の教育的、体育的、精神的面から柔道を通じて次代を担う青少年の健全な育成をはかる方策について意見を交換した。また、講道館から講師を派遣し、「中学校における柔道指導者の在り方」「国際柔道連盟試合審判規定の考え方」について講演を行った。

4. 柔道による青少年の健全育成に関する実践報告会及び研究会の開催

(1) 平成24年5月19日（日）に青少年の柔道普及を目的として「少年部錬成発表会」を大阪国際柔道センターで開催した。当日は、幼少年部の練習生・保護者が多数集まり、親睦を図ると共に、日頃の練習の成果を乱取・試合等を通じて披露するとともに、高段者による各種形の演技も行い、充実した催しとなった。

(2) 平成25年2月3日（日）に開催された全日本柔道少年団各地区代表者会議の場において、柔道少年団の組織の強化・活動の充実化の為の具体案や、小学校児童の健全育成の対策等について意見の交換を行った。

(3) 大阪国際柔道センター幼少年部の10名ほどが本館の「少年柔道夏期講習会」に参加した。

5. 柔道による青少年の健全な育成に関する国内外諸団体との連絡、資料交換及び交流

講道館段位推薦委託団体（111団体）の会長会議を平成25年3月27日（水）に開催し、「国際柔道連盟試合審判規定（改正）の試験的導入」「国際柔道の動向」について、各々講師を招いて講話をいただき、その後、質疑応答及び館長から柔道の普及振興に関する報告が行われた。

6. 柔道に関する講習会の開催

(1) 夏期講習会

夏期講習会を平成24年7月19日から8月8日までの間、実施した。

*附属明細書①参照

(2) 講道館講習会

正しい柔道の一層の普及発展を図るため、本年度も本館から講師を派遣し（経費は講道館負担）、講道館講習会を実施した。派遣先は計17カ所で、講師の延べ人数は21名であった。

*附属明細書②参照

(3) 講道館形講習会

制定された正しい“形”の修得を目指してもらう為に、全国10地区毎に講道館“形”講習会を本年も実施した。派遣先は、今回は10地区(11ヶ所)で、講師は延べ44名であった。

*附属明細書③参照

(4) 海外での講道館形講習会

制定された正しい“形”を海外に普及、振興する目的で、欧州にて3回目の講道館形講習会を、実施した。派遣国はイタリアで10名の指導者を派遣した。講習会には15ヶ国から213名の参加があり、盛況であった。

*附属明細書④参照

7. 柔道指導者の養成及び海外派遣並びに外国人柔道指導者等の受入れ

(1) 柔道指導者の海外派遣を、下記の通り行った。

ア. 本館による短期派遣（1ヶ国、10名）

イ. 海外柔道連盟招聘による本館短期派遣（5ヶ国、14名）

ウ. 海外柔道連盟招聘による本館長期派遣（2ヶ国、2名）

エ. 国際交流基金による短期派遣（6ヶ国、9名）

オ. 日本武道館による短期派遣（1ヶ国、6名）

*附属明細書⑤参照

(2) 外国人柔道指導者等の受入れを、下記の通り行った。

ア. 平成24年度、本館において修行した外国人は男子62カ国より682名、女子20カ国より106名、合計で63カ国より788名であった。

昨年と比べ、国数においては13カ国の増、修行者数では男子334名の増、女子39名の増、全体で373名の増であった。

イ. 本館で受け入れた外国からの団体及びナショナルチームは42団体であった。

ウ. 講道館柔道国際セミナーを下記の通り開催し、海外の柔道指導者を受け入れた。

期間 : 平成25年2月20日～3月15日

受講者 : マダガスカル2名、リビア2名、モンゴル2名、モーリシャス1名、カザフスタン1名、ルーマニア1名 計9名

エ. その他来館者（デモンストレーション、賓客、取材等）

内閣府外国青年（内閣府招聘）23名

(3) その他、JICA（国際協力機構）青年海外協力隊員に関わる事業等

ア. JICA（国際協力機構）青年海外協力隊員技術補完研修を下記の通り実施した。

期間 : 平成25年2月20日～3月15日

受講者 : 平成25年1次隊 7名

イ. 本館における技術補完研修を終了して派遣されているJICA（国際協力機構）青年海外協力隊員平成24年度に任期を終了して帰国した隊員は計5名であった。

平成25年3月31日現在で赴任中の隊員は計6名であった。

ウ. JICA（国際協力機構）シニア海外ボランティア

平成24年度に任期を終了して帰国したシニアボランティアは計2名であった。

平成25年3月31日現在で赴任中のシニアボランティアは計3名であった。

*附属明細書⑥参照

エ. 柔道器材支援事業

a. 寄贈

講道館柔道器材支援事業として、柔道衣合計240着を寄贈した。

b. 提供

支援用柔道衣として、合計164着の柔道衣を提供いただいた。

8. 柔道に関する調査研究

(1) 嘉納治五郎師範の下に結成された柔道医事研究会を継承する講道館柔道科学研究会は、柔道の医学的解明のみならず、広く自然科学的、人文・社会科学的研究を行った。具体的には5つの研究班を設け、それぞれ1. 歴史的 2. 体力的 3. 技術的 4. 教育的 5. 心理的研究を進めた。研究成果として「講道館柔道科学研究会紀要 第14輯」を編集し、発行の準備を行った。

(2) 講道館技研究部会は、形部門に特化して「形検討委員会」を設け、DVD作成、教本の英訳等を行った。

(3) 本館職員による形の勉強会を月次試合開始前の時間を利用して実施した。

9. 柔道に関する図書、雑誌等の編集発行

(1) 雑誌「柔道」

講道館機関誌である月刊「柔道」を4月号2,400部、5月～11月号2,150部、12月号1,900部、1月号2,000部、2月～3月号1,900部を毎月1日に発行した。

内容は講道館柔道に関する論説、国内外の主要な大会、講道館行事の報告、講道館主催の講習会、各地だより、全柔連のページ、昇段者、月次試合、科学の頁等であり、広く国内外に配布して柔道の普及発展に寄与した。

10. 柔道に関する文献資料の収集保存及び展示

(1) 資料館

ア. 資料の保存環境の向上

定期的な清掃を行い、資料の保存に適した環境の維持、向上に努めた。

イ. 入館者数 2,348人 (前年度比 700人増)

国内男性945人、国内女性312人、海外男性832人、海外女性259人

総合的学習の一環として来館した学校は以下の2校(事前申請のあった学校のみ記載)

- 愛知県みよし市立三好丘中学校
- 愛知県武豊町立武豊中学校

ウ. 資料収集の促進

寄贈受入 8点

エ. 大会開催日等における休日開館

実施日：全国少年柔道大会合同錬成(5月4日)、千代田区民柔道大会(10月13日)、全日本柔道「形」競技大会(10月21日)、鏡開式(1月13日)

(2) 図書館

ア. 柔道関係の文献・映像資料の収集・保存・提供

- a. 和書 48冊
- b. 洋書 23冊
- c. 映像資料 8点

蔵書数は和書3,470冊、洋書939冊の合計4,409冊となった。

イ. 主要な大会プログラムの収集・保存・提供

受け入れたプログラム数 62点

ウ. 逐次刊行物（雑誌・新聞）の受入

a. 寄贈

- ・「柔道」講道館, 83巻4-12号, 84巻1-3号 2012年4-12月, 2013年1-3月
- ・「月刊武道」日本武道館, 2012年4-12月, 2013年1-3月
- ・「近代柔道」ベースボール・マガジン社, 34巻4-12号, 35巻1-3号 2012年4-12月, 2013年1-3月

b. 購入

- ・「武道学研究」(平成24年度分)
- ・「体育学研究」(同上)

エ. 柔道に関する調査依頼への対応

問い合わせ件数 25件(研究者、学生、マスコミ関係者、一般等)

オ. 図書館利用者数 440人(前年度比46人増)

国内男性274人、国内女性37人、海外男性114人、海外女性15人

11. 柔道の国際大会及び国内大会の開催

(1) 皇后杯全日本女子柔道選手権大会

本館と全日本柔道連盟共催の全日本女子柔道選手権大会は、前年度優勝者、準優勝者の推薦2名と全国10地区代表34名の計36名により4月15日、横浜文化体育館にて開催された。

(2) 全国柔道高段者大会

4月28日講道館大道場で開催した。全国から八段32名、七段270名、六段506名、五段621名、合計1,429名の参加申込があった。

(3) 全日本柔道選手権大会

本館と全日本柔道連盟共催の全日本柔道選手権大会は、4月29日昭和の日に日本武道館で盛大にとりおこなわれた。出場選手は、推薦選手として前年度優勝者1名と全国10地区選出の36名を合わせた計37名であった。

*附属明細書⑦参照

(4) 全国少年柔道大会

第32回全国少年柔道大会は5月5日講道館大道場において開催された。都道府県各1チーム(東京都2チーム)の48チームが参加、試合は団体戦と個人戦(5年生の部及び6年生の部)が行われた。

(5) 全日本柔道形競技大会

本館と全日本柔道連盟共催の全日本柔道形競技大会は、10月21日に講道館大道場で開催された。投の形・固の形・極の形・柔の形・講道館護身術・五の形・古式の形の7種目が行われ、全国の10地区代表70組、推薦枠5組および全国枠4組の合計79組158名により優劣が競われた。

(6) 講道館杯全日本柔道体重別選手権大会

本館と全日本柔道連盟共催の講道館杯全日本柔道体重別選手権大会は、11月10日、11日の両日、千葉ポートアリーナにおいて開催された。

(7) 東京グランドスラム2012

全日本柔道連盟主催の国際柔道大会である東京グランドスラム2012は、11月30日、12月1日、2日の三日間、36ヶ国から268名が参加して、代々木第一体育館において開催された。本館は特別後援として大会運営に協力した。

12. 柔道の段位認定

(1) 入門者

本年度の入門者は23,055名で昨年度に比べ326名の増となった。

過去10年の入門状況は次のとおりである。

| 年 度 | 入門者数(名) | 前年比(名) | 年 度 | 入門者数(名) | 前年比(名) |
|-----|-------------------------------------|--------|-----|-------------------------------------|--------|
| H15 | 27,152 (男子) 22,833 (女子) 4,319 | - 401 | H20 | 25,281 (男子) 21,345 (女子) 3,936 | + 93 |
| H16 | 26,671 (男子) 22,479 (女子) 4,192 | - 481 | H21 | 23,929 (男子) 19,867 (女子) 4,062 | -1,352 |
| H17 | 27,116 (男子) 22,821 (女子) 4,295 | + 445 | H22 | 24,116 (男子) 19,949 (女子) 4,167 | + 187 |
| H18 | 28,278 (男子) 23,900 (女子) 4,378 | +1,162 | H23 | 22,729 (男子) 18,680 (女子) 4,049 | -1,387 |
| H19 | 25,188 (男子) 21,360 (女子) 3,828 | -3,090 | H24 | 23,055 (男子) 18,995 (女子) 4,060 | + 326 |

(2) 外国人入門者(上記(1)の内数)

本年度の外国人入門者は58の国・地域から男子377名、女子58名の合計435名であった。

(3) 昇段者

本年度の昇段者は合計32,333名で昨年度に比べ393名の増となった。過去10年の昇段状況は次のとおりである。

| 年 度 | 昇段者数(名) | 前年比(名) | 年 度 | 昇段者数(名) | 前年比(名) |
|-----|-------------------------------------|--------|-----|-------------------------------------|--------|
| H15 | 36,316 (男子) 31,263 (女子) 5,053 | + 340 | H20 | 33,934 (男子) 29,194 (女子) 4,740 | + 299 |
| H16 | 35,086 (男子) 30,213 (女子) 4,873 | -1,230 | H21 | 32,577 (男子) 27,706 (女子) 4,871 | -1,357 |
| H17 | 35,728 (男子) 30,682 (女子) 5,046 | + 642 | H22 | 32,241 (男子) 27,161 (女子) 5,080 | - 336 |
| H18 | 37,888 (男子) 32,705 (女子) 5,183 | +2,160 | H23 | 31,940 (男子) 26,833 (女子) 5,107 | - 301 |
| H19 | 33,635 (男子) 29,224 (女子) 4,411 | -4,253 | H24 | 32,333 (男子) 27,181 (女子) 5,152 | + 393 |

13. 柔道の合宿、講習会、大会等参加者のための宿泊・休憩施設の提供

講道館で柔道の合宿、講習会、大会等が行われる場合、参加者及び指導者・運営役員等に対して宿泊や休憩のための施設を安価に提供した。24年度宿泊者は延べ総数8,363人であった(23年度6,229人)。一度の利用人数が数名から数十名と多く、また利用期間が数日から数週間と長期に亘ることもあり、宿泊・休憩施設が道場や会場と隣接していることで効率的・効果的な活動をサポートした。また、健康面、安全面、衛生面でも安心して使用して頂けるよう努力した。

14. 創立130周年記念式典・祝賀会の開催

平成24年4月28日全国柔道高段者大会に先立ち、講道館大道場にて記念式典を挙行了た。
また、大会終了後、東京ドームホテルの「天空の間」において、1,300人を超える参加者を得て、祝賀会を盛大に開催した。

【収益事業】

15. 物品販売

柔道関係の書籍・ビデオ・DVD、柔道グッズ等の雑貨、カレンダー等の刊行物を販売した。また、登録商標の使用許諾料収入等も得た。概要については下記の通り。

(1) 書籍

投の形、固の形、極の形、柔の形、講道館護身術、五の形・古式の形、昇段内規、嘉納治五郎(伝記)、JIGORO KANO AND THE KODOKAN(同伝記英語版)、講道館柔道試合審判規定、柔道用語小辞典、激闘の轍、百三十年沿革史、治五郎著作集(一)～(三)、英文JUDO、嘉納治五郎(私の生涯と柔道)、嘉納師範に学ぶ、少年柔道指導法

(2) ビデオ

投技、固技、五の形、古式の形、術から道へ、三船十段
嘉納治五郎杯国際柔道大会、鏡開式

(3) DVD

投の形、固の形、極の形、柔の形、講道館護身術、全日本柔道選手権大会
激闘の轍(昭和編)・(平成編)、世界柔道選手権大会(三巻セット)

(4) 雑貨

ネクタイ、タオル、スポーツタオル、高段者パッチ、キーホルダー、額(大)、額(小)、段マーク、短冊(精力善用・自他共栄)、色紙(精力善用 自他共栄)、額(精力善用・自他共栄)

(5) 刊行物

カレンダー、絵葉書

(6) その他

講道館マーク使用料等

16. 貸室・駐車場賃貸等事業

講道館が所有する不動産の一部を店舗、病院、事務所、駐車場等として賃貸した。また、自動販売機等のサービスを有料で提供した。概要については下記の通り。

(1) 貸室

| | |
|---------|------|
| 本館7階 | 歯科医院 |
| 本館6階 | 病院 |
| 本館5階 | 事務所 |
| 本館2階 | 事務所 |
| 新館1階・地下 | 物品販売 |

(2) 駐車場

11台

(3) 自動販売機、その他(ロッカー、コインランドリー等)サービス

附属明細書（事業報告書）

①夏期講習会

| 講習名 | 受講資格 | 講習の目的 | 期間 | 受講者数 (修了者数) |
|------|----------------|-------------|------------|----------------|
| 第1部 | 男子四段、女子三段以上 | 柔道指導者の資質の向上 | 7.19～ 7.25 | 252 (115) |
| 第2部 | 参段以下の有段者・無段者 | 柔道修行の基礎の確立 | 7.27～ 7.31 | 260 (213) |
| 女子柔道 | 女子柔道修行者 | 柔道修行の基礎の確立 | 7.27～ 7.30 | 21 (14) |
| 少年柔道 | 少年柔道修行者 | 指導法の学習 | 8.1～ 8.3 | 199 (183) |
| 教科柔道 | 柔道指導者及び教科柔道指導者 | 柔道修行の基礎の確立 | 8.6～ 8.8 | 41 (37) |
| 計 | | | | 773名 (562名) |

②講道館講習会

| | 日時 | 主催 | 会場 | 内容 | 講師 |
|---|--------------|---------|---------------------|---|----------------|
| 1 | 4月8日 (日) | 愛媛県柔道協会 | 松山大学柔道場 | 国際柔道連盟試合審判規定及び同少年大会申し合わせ事項の解説と実技指導 | 松井 勲 |
| 2 | 4月22日 (日) | 埼玉県柔道連盟 | 埼玉県武道館 | 「投の形」「柔の形」 | 鮫島 元成 向井 幹博 |
| 3 | 5月3日 (木) | 福島県柔道連盟 | 郡山市総合体育館 | ①午前 国際柔道連盟試合審判規定の解説②午後 同「少年大会申し合わせ事項」の解説 | 黒田 一彦 |
| 4 | 5月5日 (土) | 千葉県柔道連盟 | 千葉県総合スポーツ科学センター 研修室 | 「国際柔道連盟試合審判規定」の解説 | 高橋 健司 |
| 5 | 5月6日 (日) | 島根県柔道連盟 | 島根県立武道館 | 「国際柔道連盟試合審判規定」の解説と実技指導及び、少年大会申し合わせ事項の根拠についての知識技能及び資質の向上 | 山崎 立実 |

| | | | | | |
|----|---------------|-----------|--------------------|--|-------|
| 6 | 5月13日 (日) | 福井県柔道連盟 | 越前市武道館 | 「柔道の技」解説と指導 | 南保 徳双 |
| 7 | 5月20日 (日) | 長野県柔道連盟 | 三郷文化総合体育館 | 講道館柔道試合審判規定・国際柔道連盟試合審判規定の解説・実技指導 | 岡田 弘隆 |
| 8 | 5月27日 (日) | 青森県柔道連盟 | 青森市スポーツ会館 (柔道場) | ①講道館柔道試合審判規定・国際柔道連盟試合審判規定の解説②最近の傾向について(特に少年申し合わせ事項の解説、判断)③実技説明(指導) | 小形 健二 |
| 9 | 6月10日 (日) | 栃木県柔道連盟 | 栃木県武道館 | 「国際柔道連盟試合審判規定」の解説並びに試合審判実技指導 | 森山 孝臣 |
| 10 | 6月23日 (土) | 鹿児島県柔道協会 | 鹿児島県総合体育センター 武道館 | 「安全指導」に関連した講義 | 向井 幹博 |
| 11 | 8月20日 (月) | 日本中学校体育連盟 | 川崎市とどろきアリーナ | 中学校における柔道指導者の在り方について | 井上 康生 |
| | 8月21日 (火) | 日本中学校体育連盟 | 川崎市とどろきアリーナ | 国際柔道連盟試合審判規定の考え方について | 川口孝夫 |
| 12 | 9月23日 (日) | 三重県柔道協会 | 三重武道館 | 「国際柔道連盟試合審判規定」について | 川口孝夫 |
| 13 | 10月27日 (日) | 沖縄県柔道連盟 | 糸満市西崎総合体育館 | 「国際柔道連盟試合審判規定」の解説と実技指導 | 小形 健二 |
| 14 | 11月25日 (日) | 山口県柔道協会 | 山口維新百年記念公園 武道館 | 「五の形」・「講道館護身術」 | 佐藤 正 |

| | | | | | |
|----|--------------------------------|--------------|-------------------------|---|------|
| 15 | 11月24日 (土) 11月25日 (日) | 三重県柔道協会 | 三重武道館 三重県営サンアリー ナ | 全国中学校柔道大会運営 講習とその実際 | 浅野哲男 |
| 16 | 平成25年 2月3日 (日) | 全日本柔道少年 団 | 講道館新館2階教室 | 柔道講話 | 村田直樹 |
| | | | | 講道館柔道と中学校教科 柔道 | 鮫島元成 |
| | | | | 国際柔道連盟試合審判規 定と少年大会における申 し合わせ事項の運用 | 高橋 進 |
| 17 | 平成25年 3月2日 (土) | 長崎県柔道協会 | 長崎県営野球場会議 室 | 「国際柔道連盟試合審判 規定」の解説 | 川口孝夫 |

③講道館形講習会

| | 日時 | 主催 | 会 場 | 講師 ・ 形 | | | |
|---|------------------|------------|-----------------------------|--------|-------|--------|-------|
| | | | | 投の形 | 極の形 | 柔の形 | 古式の形 |
| 1 | 4月 22日 (日) | 中国 | 岡山・武道館 | 山本三四郎 | 片田 誠 | 石橋 桂子 | 佐藤 正 |
| | | | | 投の形 | 極の形 | 柔の形 | 古式の形 |
| 2 | 5月 12日 (土) | 東京 | 東京・講道館 | 仮屋 力 | 村田 直樹 | 石橋 桂子 | 宇津木俊博 |
| | | | | 投の形 | 極の形 | 柔の形 | 古式の形 |
| 3 | 5月 12日 (土) | 北海道 | 北海道・道立総 合体育センター 一武道室 | 道場 良久 | 鮫島 元成 | 向井 幹博 | 佐藤 正 |
| | | | | 極の形 | 柔の形 | 講道館護身術 | 五の形 |
| 4 | 5月 13日 (日) | 東海 | 三重・名張市武 道交流館いき いき | 山本三四郎 | 宗 義明 | 秋山 澄子 | 榎 義治 |
| | | | | 投の形 | 極の形 | 柔の形 | 古式の形 |
| 5 | 5月 20日 (日) | 九州 (北部) | 長崎・県立総合 体育館 | 宇津木俊博 | 若松 節子 | 宗 義明 | 山本 四郎 |
| | | | | 極の形 | 柔の形 | 講道館護身術 | 古式の形 |
| 6 | 5月 20日 (日) | 東北 | 山形・山形市総 合スポーツセ ンター武道館 | 長谷川育男 | 秋山 澄子 | 藤田 真郎 | 千葉 翠 |
| | | | | 極の形 | 柔の形 | 講道館護身術 | 古式の形 |
| 7 | 5月 27日 (日) | 四国 | 香川・県立武道 館 | 千葉 翠 | 村田 直樹 | 永井多恵子 | 醍醐 敏郎 |
| | | | | 投の形 | 極の形 | 柔の形 | 古式の形 |

| | | | | | | | |
|----|--------------------------|------------|-----------------|-------|------------|--------|-------|
| 8 | 6月 9、10 日(土、 日) | 北信越 | 長野・小諸市武 道館 | 投の形 | 極の形 | 柔の形 | 古式の形 |
| | | | | 平野 弘幸 | 貝瀬 輝夫 | 梅津 勝子 | 松井 勲 |
| 9 | 6月 17日 (日) | 近畿 | 大阪・講道館大 阪 | 投の形 | 極の形 | 柔の形 | 古式の形 |
| | | | | 南保 徳双 | 長谷川 育 男 | 新藤 菜美 | 松井 勲 |
| 10 | 6月 24日 (日) | 九州 (南部) | 鹿児島・鹿児島 アリーナ | 極の形 | 柔の形 | 講道館護身術 | 古式の形 |
| | | | | 松下 三郎 | 鮫島 元成 | 向井 幹博 | 福島美智男 |
| 11 | 7月 7日 (土) | 関東 | 埼玉・武道館 | 極の形 | 柔の形 | 講道館護身術 | 古式の形 |
| | | | | 道場 良久 | 若松 節子 | 眞喜志慶治 | 榎 義治 |

④海外での講道館形講習会

期 日：平成25年3月5日～10日

場 所：イタリア、オスティア、リド市、フィジルカム体育館、イタリア柔連オリンピックセンター

派遣団：団長 佐藤正、団員 福島美智男、宇津木俊博、藤田真郎、村田直樹、鮫島元成、
道場良久、向井幹博、小志田憲一、仮屋力

講習日程：3月5日 開講式、講習会（投の形、柔の形）

3月6日 演技会（投の形、柔の形）

3月7日 講習会（固の形、極の形）

3月8日 演技会（固の形、極の形）

3月9日 講習会（講道館護身術、古式の形／五の形）

3月10日 演技会（講道館護身術、古式の形／五の形）、閉講式

担当講師：投の形－福島美智男、宇津木俊博、藤田真郎、向井幹博、仮屋力

柔の形－佐藤正、村田直樹、鮫島元成、井浦吉彦、道場良久、小志田憲一

固の形－福島美智男、藤田真郎、鮫島元成、道場良久、小志田憲一

極の形－佐藤正、宇津木俊博、村田直樹、井浦吉彦、向井幹博

講道館護身術－福島美智男、藤田真郎、小志田憲一

古式の形／五の形－佐藤正、宇津木俊博、村田直樹、道場良久

形を用いた指導法－鮫島元成、向井幹博

参加国（人数）：オーストリア（2名）、ベルギー（14名）、フィンランド（12名）、
フランス（2名）、ドイツ（10名）、ハンガリー（2名）、イタリア（147名）、
オランダ（1名）、ポルトガル（4名）、ルーマニア（3名）、サンマリノ（1名）、
スイス（6名）、スウェーデン（4名）、スイス（6名）アルゼンチン（1）

計15カ国（213名）

⑤海外派遣

ア. 本館による短期派遣

海外での講道館形講習会にて表記。

イ. 海外柔道連盟招聘による本館短期派遣

○八段 福島美智雄、八段 松井勲、八段 宇津木俊博、八段 長谷川育夫、女子七段 永井多恵子、
五段 仮屋力

フランス（形セミナー）

平成24年7月7日～7月12日

○八段 宇津木俊博、八段 片田誠、七段 鮫島元成

オーストラリア（0JU形セミナー）

平成24年11月20日～11月27日

○女子六段 天野安喜子、四段 瀧本誠

香港（審判・コーチングセミナー）

平成24年10月26日～10月29日

○八段 佐藤正
カナダ（形巡回指導） 平成25年1月23日～2月7日

○八段 藤田真郎、六段 南保徳双
シンガポール（昇段試験） 平成25年2月22日～2月25日

ウ. 海外柔道連盟招聘による本館長期派遣

○七段 伊志嶺朝秋
マカオ 平成24年3月26日～25年3月31日

○四段 千原慎太郎
ミャンマー（SEA Games 強化） 平成25年3月1日～12月31日

エ. 国際交流基金による短期派遣

○六段 中村勇、六段 園田真一郎、五段 廣川充志、四段 蹴揚将行
ボツワナ、モザンビーク 平成24年9月1日～9月18日

○三段 堂元司
タジキスタン 平成24年9月4日～10月30日

○八段 高橋富士男、六段 大島修次、五段 遠藤浩史、五段 秋元希星
ガボン、ギニア、コートジボアール 平成25年2月5日～2月18日

オ. 日本武道館による短期派遣

○七段 菅波盛雄、八段 御嶽知明、六段 鉄谷竜三、六段 田中康紀、五段 河合秀幸、
五段 仲田直樹
インド 平成24年10月31日～11月7日

⑥ J I C A（国際協力機構）青年海外協力隊員に関わる事業

ア. J I C A（国際協力機構）青年海外協力隊員技術補完研修を下記の通り実施した。

期間 : 平成25年2月20日～3月15日

受講者 : 平成25年1次隊 7名

参段 長谷川靖（ペルー）

参段 山崎将太（ブルキナファソ）

参段 中村俊文（インドネシア）

参段 井坪圭佑（ボツワナ）

参段 勅使瓦慧（インド）

女子参段 鈴木祥子（ラオス）

女子参段 秋山日向子（ヨルダン）

イ. 本館における技術補完研修を終了して派遣されている J I C A（国際協力機構）青年海外協力隊員
平成24年度に任期を終了して帰国した隊員（計5名）

参段 矢部哲也（ガボン）

女子参段 仲元歩美（ザンビア）

四段 千原慎太郎（バングラデシュ）

参段 小林 幹佳（パナマ）

参段 茂木慎太郎（サモア）

平成25年3月31日現在で赴任中の隊員（計6名）

五段 浦田太（ペルー）

女子参段 藤後あさみ（エルサルバドル）

参段 佐々布祐介（モンゴル）

参段 梅津哲也（ウズベキスタン）

参段 金盛友彦（ガボン）

参段 小城貴洋（ドミニカ共和国）

ウ. J I C A（国際協力機構）シニア海外ボランティア

平成24年度に任期を終了して帰国したシニアボランティア（計2名）

七段 杉山允宏（グアテマラ）

六段 三野正二郎（ケニア）

平成25年3月31日現在で赴任中のシニアボランティア（計3名）

六段 熊井憲治（ラオス）

七段 山縣住雄（エルサルバドル）

四段 小山繁（エジプト）

平成24年全日本柔道選手権大会

H24. 4. 29

| | | | |
|----|----------------------------|-----|----|
| 1 | 棟田 康幸 警視庁 (明治大学) | 東京 | 18 |
| 2 | 遠藤 剛 北海道警察 (東海大学) | 北海道 | 17 |
| 3 | 齋藤 俊 新日本製鐵 (天理大学) | 近畿 | 16 |
| 4 | 高井 洋平 旭化成 (国士館大学) | 九州 | 15 |
| 5 | 長尾 翔太 兵庫県警察 (道都大学) | 近畿 | 14 |
| 6 | 加藤 博剛 千葉県警察 (国士館大学) | 関東 | 13 |
| 7 | 香川 義篤 岡山県警察 (岡山商科大学) | 中国 | 12 |
| 8 | 海老 泰博 旭化成 (東海大学) | 東京 | 11 |
| 9 | 川瀬 孝司 岐建 (筑波大学) | 東海 | 10 |
| 10 | 猪又 秀和 東京学館新潟高校教員 (東海大学) | 北信越 | 9 |
| 11 | 七戸 龍 九州電力 (福岡大学) | 九州 | 8 |
| 12 | 岩田 勝博 兵庫県警察 (天理大学) | 近畿 | 7 |
| 13 | 百瀬 旭化成 (国士館大学) | 東京 | 6 |
| 14 | 仲田 直樹 仙台大学教員 (筑波大学) | 東北 | 5 |
| 15 | 平尾 謙一 パーケツ24 (中央大学) | 東京 | 4 |
| 16 | 上川 大樹 京葉ガス (明治大学) | 東京 | 3 |
| 17 | 榎本 収 新田高校教員 (東海大学) | 四国 | 2 |
| 18 | 上坂 正語 大阪府警察 (国士館大学) | 近畿 | 1 |
| 19 | 野島 恒久 福島県警察 (秋田経法大学) | 東北 | 2 |
| 20 | 西村 久毅 敦賀高校教員 (日本大学) | 北信越 | 3 |
| 21 | 西潟 健太 旭化成 (国士館大学) | 九州 | 4 |
| 22 | 羽賀龍之介 東海大学 (東海大相模高校) | 東京 | 5 |
| 23 | 西田 勇生 天理大学 (京都学園高校) | 近畿 | 6 |
| 24 | 生田 秀和 ALSOK (筑波大学) | 関東 | 7 |
| 25 | 鈴木 桂治 国士館大学教員 (国士館大学) | 推薦 | 8 |
| 26 | 飯田 健伍 山梨学院大学 (崇徳高校) | 中国 | 9 |
| 27 | 増淵 樹 旭化成 (東海大学) | 九州 | 10 |
| 28 | 加藤 博仁 千葉県警察 (国士館大学) | 関東 | 11 |
| 29 | 大藤 尚哉 警視庁 (日本体育大学) | 東京 | 12 |
| 30 | 石井 竜太 日本中央競馬会 (東海大学) | 東京 | 13 |
| 31 | 増田 圭省 静岡県警察 (中央大学) | 東海 | 14 |
| 32 | 中山 将男 大阪府警察 (近畿大学) | 近畿 | 15 |
| 33 | 中村 嘉宏 北海道警察 (天理大学) | 北海道 | 16 |
| 34 | 形部 安彦 香川県警察 (筑波大学) | 四国 | 17 |
| 35 | 高橋 和彦 新日本製鐵 (国士館大学) | 東京 | 18 |
| 36 | 野田 嘉明 旭化成 (福岡大学) | 九州 | 19 |
| 37 | 木下 泰成 兵庫県警察 (明治大学) | 近畿 | 20 |

入賞者一覽
 優勝者 棟田 康幸
 二位 加藤 博剛
 三位 石井 竜太
 四位 百瀬 旭化成
 五位 榎本 収
 五位 上川 大樹
 五位 高橋 和彦